



熱烈歓迎日本三次中央ロータリークラブ植樹団



中国内モンゴル自治区フフホト市において、
当クラブ会員の8名が、地元民の協力を得て、
杏の木400本を植樹しました。
また、人や家畜の飲料水に困っている農家6軒に、
雨水を溜める水窟建設費の支援をしました。



●フフホト市庁舎にて副市長と座談



中国内モンゴル 植樹と支援状況視察の報告 (第778回 例会)

隊長：高橋 宏、隊員：安藤 仁／石田光雄／中重俊二／信国秀昭／杉谷優治／瀧本喜文／上田秀樹



●隊長・直前会長／高橋 宏

今年の6月21日から24日にかけて、上田会員、杉谷会員、安藤会員、信国会員、瀧本会員、中重会員、石田会員、そして私の8名で中国内モンゴルに植樹に行っていました。本日はその報告をいたします。詳しくは、写真とビデオをご覧くださいながら、瀧本会員と安藤会員に説明してもらいます。私と上田会員、安藤会員は「水窟」の視察、杉谷会員、信国会員、中重会員、石田会員、瀧本会員は植樹と二手に分かれました。

また、その日の夕食には、卓話にも来ていただいた米山奨学生の哈申さんのお兄さんのモンゴル料理の店で大歓迎していただき、モンゴル料理や民謡など堪能させていただきました。では、瀧本会員より植樹隊の報告をお願いします。



●植樹隊報告／瀧本 喜文

なかなか、報告の機会がありませんでした。今日はよろしくお願いたします。

当日の朝はスモッグに覆われての出発となりました。植樹地まではバスで1時間ほどの行程でした。通勤時間帯でしたので、途中、自転車やバイクも多く見られました。建物も次々と建てられていました。また、大きな川には全然水がない状態でした。

現地では横断幕を掲げての熱烈な歓迎を受けました。我々は高校生たちが植樹した場所とは少し離れた所へ植えましたが、割と土が柔らかい場所でした。しかし、ご覧のように短いスコップでの作業で、しかもすぐに曲がったりするような質の良くないもので、ずいぶんと腰を痛めました。現地の人も苗を運んだり、穴を掘ったり、お手伝いをしてくれますが、なかにはよく休む人も結構いました。

手作業でバケツで水を汲んで、苗に水をやって、作業終了しました。最後に横断幕をバックに写真を撮りました。行き帰りに見られる景色からも、やはり砂漠化している現状が見て取れました。

汗まみれで一生懸命作業しましたので、予定より早く終わる事ができ、高校生たちが植樹をした場所を見に行ってきました。2年前に植樹した場所ですが、とても土壌が固い所のように見えました。また、当日は恵みの雨が降りまして、現地の方たちはとても喜んでおられました。





●水窟視察隊報告／安藤 仁

続いてアドベンチャー隊の報告をさせていただきます。二度とは行かないような所に行くことができ、高橋さんには感謝したいと思います。

ビデオを見ながら説明します。フフホトは酪農が盛んな所で、中国で一番ミルク製品を作っている所だそうです。移動中の車から見る街もごちゃごちゃと、よくわからない建物がありますが、とにかくほこりがいっぱいでした。また、今年は雨の降る時期が遅かったので、とうもろこしが収穫できないということでした。

フフホトは青森県と同じ北緯41度に位置し、北京とは同じ時間です。車で奥地へ入って行くのですが、道が悪かったり、舗装工事中の所もあり、悪路を行くまさにアドベンチャー隊でした。到着したのは標高1,600～1,800mのところ、まわりには何もありませんが、電気は一応きておりました。パラポラアンテナが立ち、衛星放送が入ります。

そこで水窟を視察して来ました。まずに水が流れ込んでそこからタンクに落とし込むという構造です。たまった水はミルクコーヒー色をしているのですが、この水に石灰を少し入れて消毒して沈殿させて、上澄みを飲むということだそうです。



人々は昔ながらのお年寄りという感じで、家も丘の中腹に穴を掘って建てたようなものもあります。お昼ご飯をご馳走になりましたが、結構おいしかったです。

その後、植林の人たちと合流してフフホト市の市役所へ表敬訪問しました。外交部の主任さんにお会いして、目録、三次人形を無事に渡すことができました。

続いて哈申さんのお兄さんのモンゴル料理店に行きました。牛乳の入ったお茶やいろいろな料理をいただきました。そこでは楽団による踊りや民族音楽、馬頭琴の演奏など見せてもらい、感激しました。また、お酒を飲むときの儀式も体験しました。

フフホトは青い都と言われ、北海道と同じような気候です。現在NHKで中国の番組が放送されていますが、来週はフフホト市に行くようです。是非ご覧下さい。